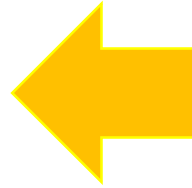


環境委員会

株式会社M.T.C
メンバー

森實・吉見・勝山・上村・
福井・池上・中西(補佐)

大谷工場床パンキ塗り実施(前編)



製造業では、足元が雑然としていると、命に関わることもあります。

実は、事故で最も多いのは、「転倒」なのです。安全な作業を行なうには、まず足元から確保です。

工場や倉庫であれば、作業する場所と通路はあっさりと区別します。通路にはモノを置いてはいけません。「ほんのちよつこの時間だから...」でもダメです。

常に何もない状態。これが大切なのです。

《通路》

物を置かず、人やフォークリフトがスムーズに通行できる。常に整理整頓を行ない、安全な作業が出来る状態を整える。

《製品置き場》

各製品の場所を決め、その場所に置く。

《材料、作業台置き場》

・コイル、切り板、台車などの置く位置を特定する。

5Sの基本「何もない状態。これが大切。」

それでは、パンキ塗りの様子を見てみましょう。

昨年十一月から、前田製造部長を筆頭に、大谷工場で頑張っている板金グループの方々が、仕事の合間を縫ってパンキを塗ってくれました。

現在は、通路の部分と出荷置き場まで塗れているのですが、ここまで塗るのにも色々ありました。

安全靴にパンキが降り注ぎ、白一色の安全靴が、「瞬で白と緑のツートーンに早変わり」：「世界に1つだけの安全靴」になりました。(SAPの名曲?)
パンキ塗りをする際は、しっかり対策し、次に挑むらしいです。

工場が広い事と、嬉しいことに仕事が忙しく、なかなか時間が取れない状態なので、まだ完成ではありませんが、また後編をお楽しみに☆



これが噂の「世界に1つだけの安全靴」
2つとして同じものはないから...